

## 幼児教育学科 2年後期 総合科目

1. 日本国憲法
2. ICT 情報リテラシー

幼児教育学科						
科目名: 日本国憲法				担当教員 氏名: 後藤 亜季		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	後期	総合科目	講義	選択	保育士資格指定科目(選択必修) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
無人島で誰ともかかわらずに生きない限り、私たちは必ず、いずれかの社会に属して生活することになる。社会にはルールが存在するが、その中でも特に重要となるルールが法律である。講義では、社会人としてまた幼児教育専門職に就く者にとって必要な憲法を学ぶ。また、現代的な問題について検討する。						憲法、法律、人権、自己決定権、 子どもの権利・利益、国民主権、 統治、平和主義
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番)		2. 5. 8. 10	
A 知識・理解力			社会生活上必要な法的知識の獲得と理解ができる			
C 論理的思考力			法的な考え方(リーガル・マインド)の習得ができる			
D 問題解決力			社会生活上生じる様々な法的問題を解決するために、獲得した法的知識やリーガル・マインドを用いることができる			
E 自己管理能力			法的知識やリーガルマインドの活用により、社会生活上生じる様々な紛争を回避することができる			
G 倫理観			人権や権利擁護に対する正しい理解を得、幼児教育に関する学修や実習、将来に活かすことができる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 100 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: %		
特記事項: 授業中の発言は発言点となる。発言点は、テストで獲得した点数に加算され、合計点で成績評価を行うこととする。なお、授業計画は進度や履修者の興味関心に応じて変更することがある。						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修    ディスカッション、ディベート    グループワーク    プレゼンテーション    実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 中間レポートを課す。また、最終試験は別に定める日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 採点して返却する。レポートは解説を行い、試験については模範解答を配布する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容		学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス: 授業や評価について理解する 法学概論Ⅰ: 国家や法律はなぜあるかを考え、理解する			【予習】自分の身の回りにおける・見聞きした法的事件を確認する 【復習】国家や法律がどのような役割を果たすのかをまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
②法学概論Ⅱ 法律の種類を理解する 具体的な紛争をどのように解決されるかを理解する			【予習】法律の種類を調べる。紛争はどのように解決されているのか調べてくる 【復習】法と法律の違いを確認する		【予習】120分 【復習】120分	
③法学概論Ⅲ 具体的な紛争と違憲判決について理解する 法律の機能、特徴を理解する			【予習】見聞きした紛争の法的な解決方法を調べる 【復習】違憲判決が出た事例を調べ、まとめ、その後どのように法律が改正されたかまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
④憲法概論Ⅰ 憲法とはどのような法律か—現代的憲法の成立と人権を中心に理解する			【予習】市民革命について学んでくる 【復習】市民革命から現代的憲法の成立までまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑤憲法概論Ⅱ 日本国憲法の三大原理を理解する			【復習】日本国憲法の三大原理、それぞれの関係性をまとめる		【復習】240分	
⑥人権総論 憲法第13条と同第15条以下の人権規定、新しい人権について理解する。個人の尊重とは何かを理解する			【予習】憲法第15条～第40条までについて調べる 【復習】憲法第13条と同第15条以下の関係、新しい人権についてまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑦憲法第13条と自己決定権Ⅰ 自己決定権を理解する 信教の自由を理解する			【予習】憲法第13条について調べる 【復習】自己決定権と信教の自由についてまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑧憲法第13条と自己決定権Ⅱ 輸血拒否事件1 成人事例について学び、理解する 輸血拒否事件2 子どもの事例について学び、理解する			【復習】輸血拒否事件の論点をそれぞれまとめる。成人事例と子どもの事例の違いを明確にする		【復習】240分	
⑨憲法第13条と自己決定権Ⅲ 親権を理解し、親権の行使と子どもの自己決定権について理解し、考える			【予習】親権について調べる 【復習】親権についてまとめ、親の意見と子どもの自己決定権が衝突する場面を具体的に考え、検討する		【予習】120分 【復習】120分	
⑩憲法第14条平等原則Ⅰ 憲法第14条の内容、平等の考え方について理解する			【予習】憲法第14条について調べる 【復習】平等原則と平等の考え方をまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑪憲法第14条平等原則Ⅱ 合理的な区別と不合理な差別について判例をもとに理解する			【復習】合理的な区別と不合理な差別について判例の論点を整理し、まとめる。日々の生活において生じている異なる取扱について検討する		【復習】240分	
⑫子どもの権利保障に関する問題を知り、検討する			【予習】子どもの権利が侵害されていると思われる事例を調べてまとめる 【復習】子どもの権利保障についてまとめる		【予習】120分 【復習】120分	
⑬統治に関する知識を得る			【復習】国会・内閣・裁判所の役割についてまとめる		【復習】240分	
⑭平和主義と憲法第9条、憲法の改正について理解し、検討する			【予習】自衛隊の設立から最近の活動までを調べる 【復習】憲法9条の解釈と改正についてまとめ、検討する		【予習】120分 【復習】120分	
⑮まとめ			【予習】全体の復習をする		【予習】240分	
使用テキスト: テキストはありません。授業中配布するレジュメを用います				その他参考文献など: ・いちばんやさしい憲法入門 第4版(有斐閣アルマ)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 配布したレジュメに従って授業を行います。法律を難しいと感じている人もいますが、次の点でこの授業は皆さんにとって役に立つと思います。社会のルールである法律、特にその中でも最も重要な憲法についての知識を得ることは、①社会人となる皆さんにとって必要であること、②多様な人々が暮らす社会においてその多様性を認めたくて適切な教育を行う専門家として活躍する際に、とりわけ大切な行動指針を与えてくれること、③現代の社会的な問題や、日々において直面する問題の本質を理解したり、解決する力を養うことができること。授業では、具体的な事例を用いて、皆さんに参加していただきながら、できるだけわかりやすく、楽しく授業を進めていきます。是非意欲的に参加してください。なお、受講者の希望に合わせて内容を変更することがあります。						

## 幼児教育学科

科目名: ICT情報リテラシー				担当教員 氏名: 浦城 尚武		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	後期	総合科目	演習	選択	保育士資格指定科目(選択) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
今後のデジタル社会において、数理・データサイエンスを日常生活、仕事の場で使いこなすことができる基礎的素養を身に着けること。						統計基礎、データサイエンス、データの比較、データの集計、個人情報保護、情報漏洩
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 8	
A	知識・理解力		データを読み解く力、説明する力、データを扱うための力を養う。			
C	論理的思考力		情報作成能力を身に付け、活用能力を高める。			
D	問題解決力		データを利活用する際の留意事項に関する知識習得。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	20 %	実技試験: %
						その他: 30 %
特記事項: ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・授業外の予習・復習が不可欠であり、アクティブ・ラーニングとして、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中の後半に毎回課題演習を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。						
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)
						学習内容
① ガイダンス: 数理・データサイエンスを学ぶ事の意義						ビッグデータを活用したビジネス/サービス 【予習】30分 【復習】30分
② 統計学の基礎知識(サンプリングと母集団)の理解						統計基礎の知識・スキル 【予習】30分 【復習】30分
③ 統計学の基礎知識(正規分布)の理解						統計基礎の知識・スキル 【予習】30分 【復習】30分
④ Excelによるデータ編集(入力、演算)の習得						Excelを活用したデータの処理 【予習】30分 【復習】30分
⑤ Excelによるデータ編集(関数)の習得						Excel関数の活用 【予習】30分 【復習】30分
⑥ Excelによるデータ分析(グラフ)の習得						Excelによるデータのグラフ化 【予習】30分 【復習】30分
⑦ Excelを活用した将来予測の習得						分析ツールの利用 【予習】30分 【復習】30分
⑧ Excelを活用した適正価格の推定の習得						分析ツールの利用 【予習】30分 【復習】30分
使用テキスト: <電子書籍(ManaMo)>「イチからしっかり学ぶ! Office基礎と情報モラル Office2016対応」(noa出版)、適宜資料を配付				その他参考文献など: <電子書籍(ManaMo)>これだけは知っておこう! 情報リテラシー(noa出版)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 1年前期に開講した「ICTベーシック」と同じテキストを使用するので、「ICTベーシック」を履修した者はあらためてテキストを購入する必要はありません。						